

第 12 回 小規模デイサービスなかはな 運営推進会議（会議記録）

開催日時 令和 7 年 10 月 23 日（木）
午後 4 時 30 分～午後 5 時 10 分

開催場所 小規模デイサービスなかはな

出席者 民生委員
利用者家族代表
利用者代表
伊勢市東地域包括支援センター

欠席者 通町自治会
浜郷地区まちづくり協議会

概 要

1 事業報告

事業概要について事項書に沿って説明を行いました。説明の内容については次のとおりです。

利用者数

10 月 1 日現在の登録者数は、34 名で、直近 1 週間の 1 日当たりの平均利用者数は 12.0 名です。

利用者の居住地域については、東地域包括支援センター管内の利用者数が 22 名（内訳 通町 1 名、二見町 10 名、黒瀬町 9 名、田尻町 1 名、一色町 1 名）、その他の地域が 12 名となっています。

男女比は、男 8 人、女 26 人。

年代別では、80 代が最も多く 25 人、90 代 8 人、70 代 1 人となっています。

介護度別では、多い順に要介護 1 が 15 人、要支援 2 が 6 人、要支援 1 が 5 人、要介護 2 と 3 がそれぞれ 4 人となっています。

人員体制

管理者（生活相談員兼務）1 名、介護職員（生活相談員兼務）1 名、介護職員 3 名、看護職員（機能訓練指導員、介護職員兼務）2 名、介助助手 1 名の合計 8 名体制で前回と変わりなしです。

サービス提供の状況

午前中は、看護職員の指導による体操を中心に、工作・合唱・パズル・塗り絵などの脳トレーニングを行っています。体と頭をバランスよく使うことで、健康維持や身体機能を維持できるよう取り組んでいます。

午後は、クイズやオセロゲーム、ボール投げなどのみんなで一緒に楽しめるレクリエーションを実施しています。利用者の皆さまが他者と交流し、笑顔で過ごしながらストレスを発散できるよう心がけています。

また、入浴サービスをご利用の方には、職員の介助・見守りのもと、安全な環境でお一

人ずつ入浴をしていただいています。

ほかにも、月に1回、外部ボランティアによるギター演奏に合わせた合唱の会や、花見などの外出行事、敬老会、運動会などの季節に合わせたイベントを実施しています。

2 令和7年度 4月～9月 年間行事、レクリエーション実施状況

年間行事、レクリエーションの実施状況について次のとおり報告しました。

【外出レク 花見】4/3(木)～/7(水)

今年も通町公園で桜の花を見物。希望者が全員参加できるよう1週間かけて実施。いずれの日も晴天で温かく花も8分咲きから満開でした。肌で季節を感じながら会話したり散策するなど各々で楽しんできました。

【避難訓練】5/28(水)

大規模地震、津波を想定して訓練を実施。避難袋の中身の確認や、避難先、避難ルートの説明なども実施しました。

【敬老会】9/15(月)～/19(金)

職員によるマジックショー、秋の収穫ゲームを実施したほか、一人一人にアルバムをプレゼントしました。おやつは塩ようかんやみたらし団子など地元の店の銘菓を日替わりで楽しんできました。

【運動会】10/9(木)～10/15(水)

紅組白組に分かれて玉入れや風船バレー、玉運び競争など日替わりで1日2種目実施しました。どの競技も白熱し、皆さん楽しくにぎやかに参加されました。

3 令和7年度 後期行事、レクリエーション実施予定

後期の予定について次の通り報告しました。

実施月	行事名	内容、目的
11月	【外出レク】紅葉見物	近所の紅葉スポットを見物。季節を感じて脳の活性化をするとともに、周囲を散策して身体機能の向上、リフレッシュを図る。
	【外出レク】通町文化芸能祭	事前に作品を制作し出展。自分たちの作品を見て達成感を感じたり、他の作品を見て脳の活性化を図る。※当初は見物予定であったが休業日である日曜日開催のため見物はせずに作品の出展のみとする。開催日時については案内する。また、職員が展示の様子を後日みなさんに報告する。
12月	避難訓練	災害時の備えと防災意識の向上を図る。
	クリスマス会	クリスマスツリーの制作、歌、出し物など。行事を通して季節感を感じるとともに、心身のリフレッシュを図る。
1月	正月行事	餅菓子づくり、ミニ門松づくり、福笑いゲーム、新年の抱負など。季節行事による心身のリフレッシュと手作業による機能訓練で、身体機能の維持、向上を図る。
2月	豆まき	伝統的な豆まきを模した玉当てゲームなどを実施。豆の代わりに甘納豆などを食す。季節を感じ、体を動かすことで心身機能の維持、向上を図る。

4 災害発生時の対応について

7月30日にカムチャッカ半島での地震に伴う津波警報が発令され、当事業所でもデイサービスを中断し全員でいせトピアに避難しました。具体的には、津波注意報が発令された8:35頃は送迎中でしたが、波の高さも最大1mとのことで、情報収集をしながら通常通りのサービス提供をしました。9:40頃に津波警報に切り替わり、すぐにいせトピアに避難することを決定。津波到達までの時間にかなり余裕があったことからケアマネや家族に連絡をした後に10:45に利用者様、職員全員で車で避難しました。避難中は1か所に集まり、椅子に座っての簡単な体操や雑談をして過ごしました。その後、津波到達の情報等が入り事業所に戻っても安全であると判断し、12:45に事業所へ戻り昼食をとりました。午後は利用者様の疲れも考慮して和室でくつろぎながら雑談や軽めの体操をしました。入浴サービスについてはすべて中止しました。

今回は警報発令から避難までにかなり時間的な余裕があったことと、自動車の利用ができたことからスムーズに避難できました。

しかし、地震による津波避難の際には、時間の余裕がないうえに自動車の利用ができないことも十分考えられます。現在は定員の増により以前よりも1日当たりの利用者数が増えており、徒歩での避難となると職員だけで全員を安全に避難所まで誘導することは困難なケースも想定され、早急に対応する必要のある大きな課題となっています。

大規模災害時の避難の際は公的な支援は望めないことから、ご近所の方が避難する際に一緒に付き添ってもらうなど、地域の方々にご協力をお願いできないかと考えております。

5 ご意見、質疑等について

〈災害時の避難に関すること〉

委員：避難訓練ではどこに避難しましたか。

デイ：敷地内の建物から離れた安全な場所へまずは避難しました。その後本来なら避難所へ向けて移動するのですが、訓練では事業所内の和室を避難所に見立てて移動しました。

委員：実際に避難する場合はどこへ行きますか。

デイ：市の指定避難所となっているいせトピアか宇治山田商業高校です。車がつかえない場合は最も近い宇治山田商業高校へ避難します。津波の場合は、道中の高台である23号線まで時間内に到達できるようにします。

委員：利用者さんは自分で歩ける人ばかりですか。

デイ：介助が必要な人も多く車いすの人もいるため、状況によっては職員だけでは対応が難しい場合があります。

委員：町内会でリヤカーがあるのでそういったものを使う方法もあると思います。

委員：3階建て以上のアパートなどと事前に調整して避難先として利用できるような方法もある。

委員：このように事前に考えておくことが大事だと思います。

〈その他〉

委員：正月の工作はどのようなものを考えていますか。

デイ：作った後に持ち帰り頂けるようなものと考えています。

委員：デイサービス同士で情報交換するような場はありますか。

デイ：コロナ前は事業所連絡会のようなものがあり市内の他のデイサービス事業所と意見交換などをする場がありましたが今はありません。

地域に開かれたデイサービスとして、お役に立てることがあったらしていきたいので、ご要望などあればいつでもお話してください。

6 次回開催

次回は令和8年3月を予定しています。時期になりましたら改めて案内します。